



第17回上田八木・金融政策サーベイ(2018年1月)の結果について

～1月のMPM予想は回答者の98%が政策変更なしの見方。3か月先の金利予想はどの期間も上昇を予想する先が増加。出口開始時期は今から1年未満との見方が13%に増加(前回6%)。

2018年1月19日(金)
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 回答者(179先)の98%が1月のMPMで政策変更なしとの見方。
- 3か月先の金利予想はどの期間も上昇を予想する先が増加している。
- 金融緩和からの「出口開始時期」は、「1年未満」の見方が13%と前回(6%)より増加の一方、「1年以上3年未満」(前回67%→今回65%)、「3年以上」(前回27%→今回22%)といずれも減少。

【調査の概要】

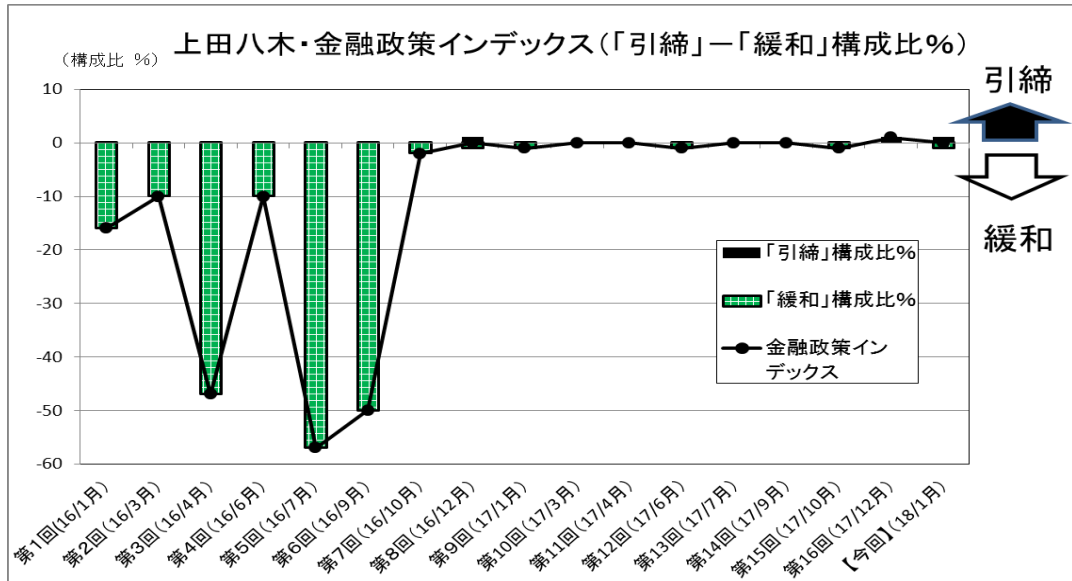
調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(197先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2018年1月16日～18日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	90.8% (回答者数179先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(1月22日～1月23日)における決定について

回答者の98%が「不変」の見方(前回99%)。

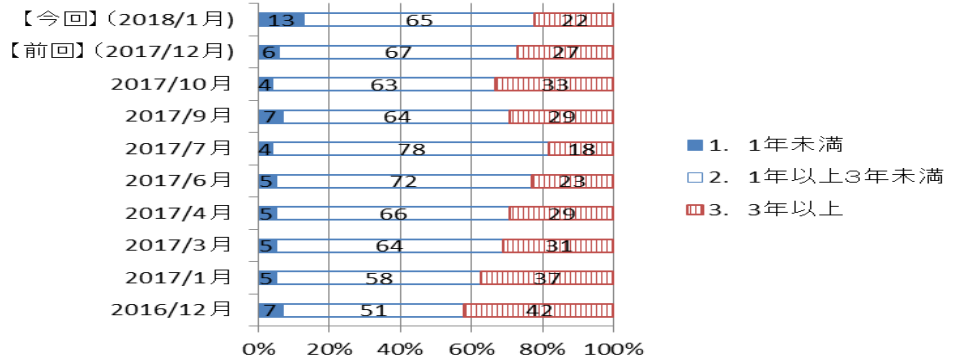
上田八木・金融政策インデックス(「引締」ー「緩和」構成比%)は、±0だった(前回+1)。



(ご参考)

【今回10回目となる追加質問: Q5】現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は?

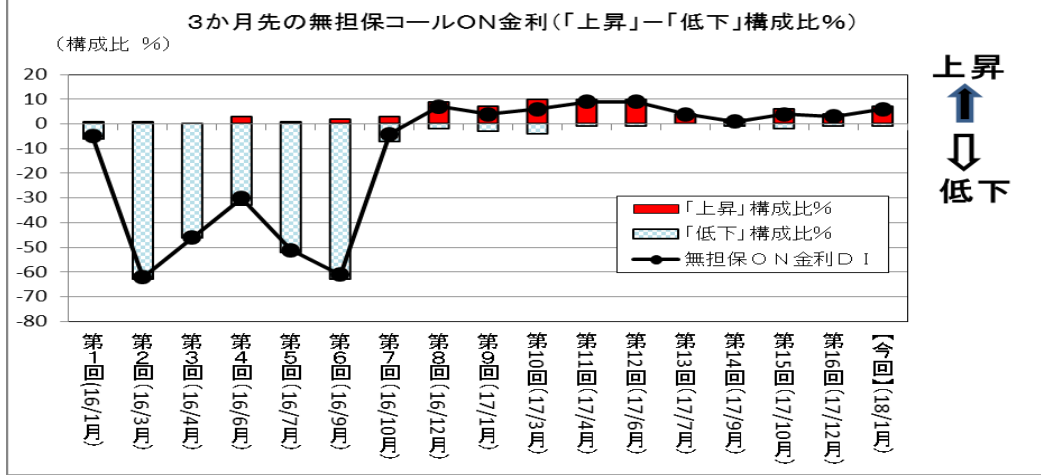
1年未満と回答する先が13%に増加(前回6%)。



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の92%が「不変」と予想。1%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は7%だった。

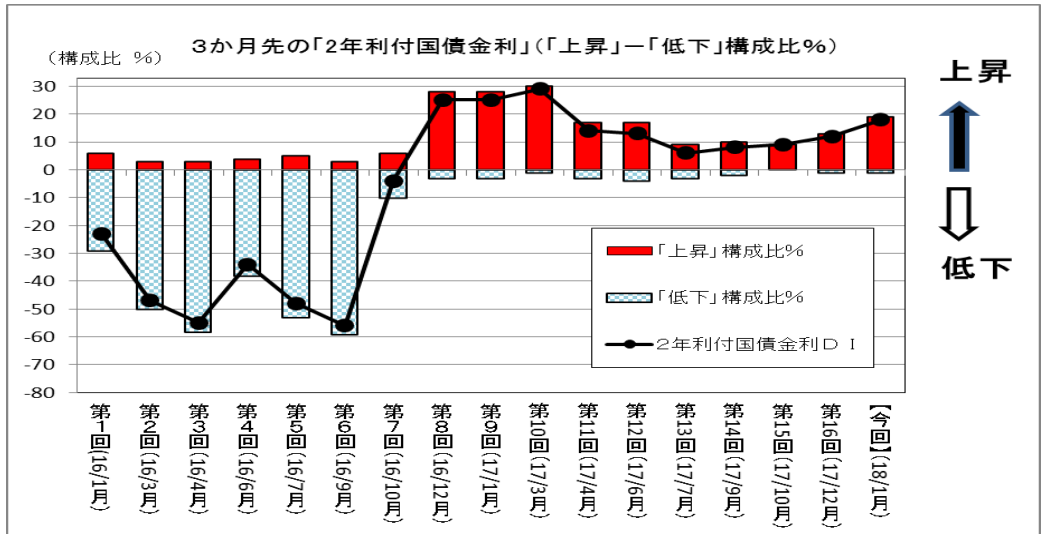
前回との比較では、「低下」とみる先1%と前回と同じ。
 「不変」とみる先が▲3%ポイント(前回95%→今回92%)。
 「上昇」とみる先は+3%ポイント(前回4%→今回7%)。



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の80%が「不変」を予想。「低下」を予想する回答者1%。「上昇」を予想した先は19%であった。

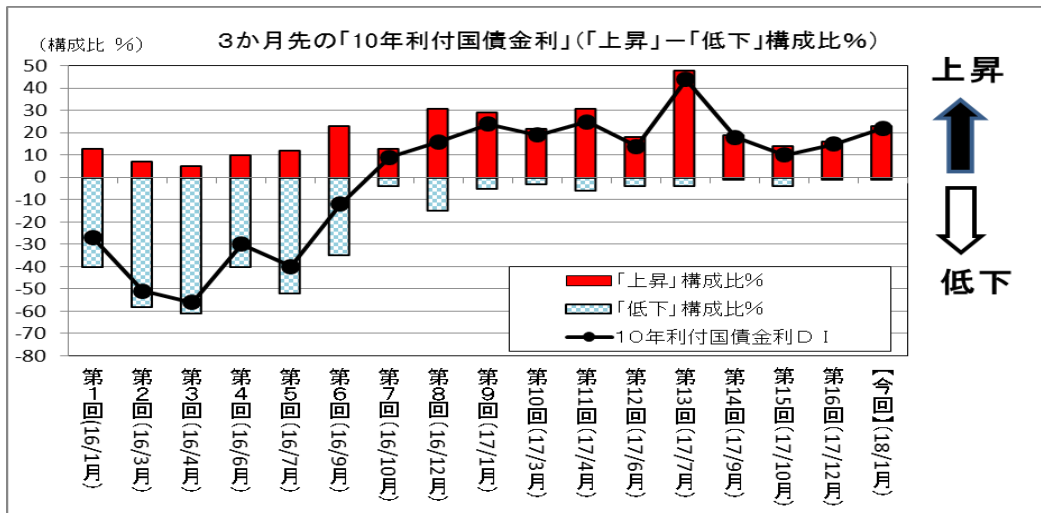
前回との比較では、「低下」とみる先は1%と前回と同じ。
 「不変」とみる先は▲6%ポイント(前回86%→今回80%)
 「上昇」とみる先は+6%ポイント(前回13%→今回19%)。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の76%が「不変」を予想。1%が「低下」、「上昇」を予想した先は23%。

前回との比較では、「低下」とみる先は1%と前回と同じ。
 「不変」とみる先は▲7%ポイント(前回83%→今回76%)。
 「上昇」とみる先は+7%ポイント(前回16%→今回23%)。



【本調査に関する照会先】
 企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)